

## 「地域包括ケアフォーラム」出展者アンケート集計結果

開催日時：令和元年（2020年）11月16日（土）10：00～15：30  
場 所：神奈川県立保健福祉大学  
出展者数：24団体  
アンケート回収数：19件

令和2年3月9日  
在宅療養連携会議  
第4回全体会議 資料1－2

### 地域包括ケアフォーラムについて伺います。

#### Q1. 出展された感想をお聞かせください。

1	とてもよかった	7	38.9%
2	よかった	10	55.6%
3	あまりよくなかった	2	11.1%
4	よくなかった	0	0.0%
	無回答	0	0.0%

#### Q2. 1の回答を選ばれた理由をご記入ください。

来訪者も少なく、相談も一人しかなかった。

他団体等の取り組みを知ることができました。

少しでも多くの方に医療・介護・応急手当等を理解して頂き、市民の方々と地域連携をおこなっていくための有意義なフォーラムと感じました。

初めての参加でした。一般の方が最初から老健に相談というのは、ケースとしてはなかったですが、他の出展者の方からの情報を聞くことができて参考になりました。

（自分にとっては）展示物やセミナーに参加して他団体他事業所のことを理解できた。  
内部的には他包括の協力を得られたので、参加までのプロセスはさほど苦労はしなかった。

普段、ゆっくりお話ができない方々と、場の共有ができた。  
他社、他業種の取り組みをじっくり勉強できるいい機会だった。

地域を見守る団体が多数参加し、それぞれの専門分野を発信していた。フォーラムの特色をわかりやすく広報することでさらに来場者が増えて、フォーラムの目的達成度が増えると思う。

市民の方々に、横業協活動を知っていただける機会となった。また、他団体の取り組み等も知ることができた。

活動を知っていただくきっかけとなった。

会場が広くて良かった。

今回は初めての出展であったが、他の出展者との交流があった事や、当日のイベントの雰囲気などが分かってよかったと思いました。

予想以上の来場者で当ブースにも多くの方が来てくださった事と、出展者同士の交流も出来た事が良かった。

認知症や認知症カフェの活動について知ってもらう機会になった。  
認知症カフェ同士が連携づくりをするきっかけになった。

子供さんや高齢者も参加してポッチャやゲームをやっていた。

当院の地域包括ケアへの取組を紹介することが出来たから。

参加者の反応に手ごたえがあった。又催したい。

あまりに多くの出展がありすぎて、なんのイベントか参加者には分かりづらいだろうな、と思った。

Q3. 開催時期については、適当だと思いますか？			
1	今回と同じ時期で良い	15	83.3%
2	今回とは異なる時期が良い	3	16.7%
	無回答	1	5.6%

Q3-2. ____月頃			
	12月頃もしくは9月。全包括は11月。	1	
	無回答	2	

Q4. 開催時間については、適当だと思いますか？			
1	今回と同じ時間帯で良い	16	88.9%
2	今回とは異なる時間帯が良い	2	11.1%
	無回答	1	5.6%

Q4-2. ____時 ____分頃～ ____時 ____分頃			
	～16時00分頃	1	
	半日でいいと思った。	1	
	無回答	0	

Q5. 開催場所について、適当と思われる会場はどちらですか？			
1	神奈川県立保健福祉大学	11	61.1%
2	横須賀市立総合福祉会館	4	22.2%
3	横須賀市文化会館	1	5.6%
4	ヴェルクよこすか(横須賀市勤労福祉会館)	2	11.1%
5	その他	5	27.8%
	無回答	1	5.6%

※複数回答

Q6. 来年度、同様に開催する場合、また出展したいと思いますか？			
1	出展したい	7	38.9%
2	できれば出展したい	9	50.0%
3	できれば出展したくない	1	5.6%
4	出展したくない	0	0.0%
	無回答	2	11.1%

☆行事開催について決定していないため回答できません。

Q7. 自由記述(感想やご意見を自由にご記入ください)
形を変えて、集客がもっと増える工夫が必要だと思います。
準備期間が短かったため、難しかったとは思いますが、もっと周知できれば、来場者が増えるのではないかと思います。また、県立大学で実施するのであれば、建物外の屋根のある場所を活用する、裏門を開ける、のぼり旗を立てたり、装飾等をして、そこからイベントをやっていることが分かるように工夫をすれば、近隣住民等の参加も促すことができたのではないかと思います。 イベントが1日に渡るのであれば、参加団体の食事場所があると良かったです。今回は晴天だったので、外で食事を取ることができましたが、一度参加団体で集まった方が、一体感が出たのではないのでしょうか。 在宅療養連携会議のメンバーの取り組み等を知る機会があったことは良かったです。 事務局の皆様、準備から片付けまで、お疲れ様でした。ありがとうございました。
救急課としては資器材が多かったので、駐車スペースを必ず確保して頂きたい。 出展団体の集合が1時間前であったが、30分前で対応できると感じました。 市民が各ベースへ参加し体験するためにポイントとなる個所へ案内人・掲示板の増設を必要と感じた。
介護相談という形で窓口を広く設定し、その中で話を聞いた上で、老健をすすめるのか、居宅をすすめるのかで各ケースに案内しても良いのではないかと、という意見がありました。2階への人の流れは少なかったように思います。
我が包括にとっては展示スペースはちょうど良かったです。 資料を持っていく人はいないだろうと思っていたが、介護者ストレスの資料がすべてなくなった。来館者は、どちらかというと本人ではなく介護者が来るところなのだと納得しました。 市民の方がどのくらい来たのかなあと気になりました。
今回、参加させていただき、本当に勉強になりました。 自社の紹介が出来る場であったこともひとつ。他社、他業種、地域の取り組みを知らなかったことに恥ずかしさと驚きを共有できたことがひとつ。 医療と福祉と地域と行政がひとつになって、イベントを成功できてよかった！ ぜひ、続けた方がいいし、行政の負担も軽減させる策を検討していきましょう！
福祉、医療、法律などあらゆる団体が発信する情報を、参加団体である私共も共有することができて、とても良い企画だと思った。生涯学習フォーラムと同時開催であったため、セミナー、講演会など盛り沢山であったので、一日の開催では見たい情報や体験を消化できなかった一般来場者の方も多かったのではないかと感じた。
同時期開催の生涯現役フォーラムと学食スペースを使用したが、レイアウトが近々まで分からず当日準備に手間とりました。レイアウトや学食での開催告知等、生涯現役フォーラムの主催側ともう少し連携が図れると良い。との意見がありました。市民(60～70代)の方が、咀嚼・嚥下機能の低下を身近な問題として捉え、嚥下食カフェをご利用いただき摂取しての感想やアンケート実施により、これから活動していく上での課題が抽出できたことは、大きなメリットであったと思います。
講堂を使わせていただきましたが、前の団体と時間が接近していて準備の時間が少なかったのが少し大変でした。
今回のフォーラムに出展させて頂き、多職種間や一般の方々との地域的な連携の重要性を再確認することができました。また、機会がありましたら参加させて頂きたいと思います。
フォーラム(講演や議論、交流を目的とした企画)に加えて、一般市民が参加したくなる要素(フェスタ)を加えた方が良い。(この部分については民間企業、団体参加公募対応)
いろいろとお世話になり、ありがとうございました。食堂を区切って二つのセッションをするのは、無理だったように思います。マイクの音が重なり、お互いに気をつけても、結局音が聞き取れない状況になりました。また、生涯現役フォーラムと同時開催することの良さをいかすために、もっとお互いの情報共有ができればよかったかと思います。お疲れ様でした。
関わる団体が多すぎて、なんのイベントかが分かりづらかった。同じ時間に講演が重なりすぎていて、聴講者に偏りが出ている。